

42期

行政と市民生活講座

第二回テーマ

大災害にどう備える(1)

熊本地震に学ぶ

講師 石崎 健氏 (防災アドバイザー)

報告 R-A

実施日 令和元年8月31日(土)
場 所 水谷公民館
時 間 午後1時半～3時半
参加者 9名



1. 初めに

今回の講座は富士見市で首都圏直下地震や荒川や柳瀬川等の決壊による水害などの大災害が起こった場合に想定される状況についてまなびます。また災害発生時には、国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間ともいわれています。大災害発生時に備え私たち一人一人がどう行動すべきか、日頃からどのように備えておくべきか、災害発生時の対応に関する実践的知識や技術を学び災害時に役立つ行動力を身に付けることが講座の狙いです。

第2回のテーマは表題にあるように「大災害にどう備える(1)―熊本地震に学ぶ」として「地震」を取り上げました。

2. 講座のあらまし

1 近年の大規模地震

1. 阪神・淡路大震災（H7, 1月7日発生）
都市型災害、 火災の発生
消防による初期生存救出率
2. 新潟県中越地震（H16, 10月発生）
孤立する 救助物資が届かない
3. 東日本大震災（H23, 3月発生）

2 熊本地震に学ぶ（H28, 4月発生）

1. 地震の発生 震度7が2回発生。5強以上11回発生。多大な被害
2. 地震の被害 ライフラインの壊滅的被害
3. 課題と対策
 - ・家屋の倒壊 耐震化 建物の補強と新耐震基準の見直し
 - ・救出・救助 自主防災組織 自助、共助、公助 主体は共助
 - ・住民の所在不明 ネットワーク化（住民と自治体）

3 これからの防災（住民として）

- （1）地震の想定
- （2）地域特性の把握
メリット・デメリット
- （3）地域防災計画の把握
自主防災組織

4. 防災整備の推進

備蓄・街の整備

5. 防災活動（規則・計画・活動）

自主防災組織
防災計画
緊急参集
防災組織図上訓練

おわりに

